

(7-I) 非鉄金属（アルミ圧延）

18/17 19/18 ◎ 伸び率10%以上 ● 伸び率0～▲10%
：天気図マーク； ◎ ◎ ○ 伸び率0～10% ● 伸び率▲10%以下

1. 企業経営動向

(1) 需要

平成18年度の需要について、板類は、主力の缶材が微減となり、輸出も減少する見込みだが、電気機械、自動車を含む輸送機械、一般機械等が好調で、前年度比1.4%となる見込み。また、押出類は、過半を占める建設向け、自動車、一般機械等が好調であることから、同0.5%となる見込み。これにより、板類・押出類の合計では、同1.0%と2年ぶりのプラスとなる見込み。アルミ箔については、家庭箔を含む日用品向けが減少する一方、主力のコンデンサーを含む電気機械向けが好調で内需としてはプラスとなる見込みだが、輸出の減少により、同▲0.7%と4年連続でマイナスとなる見込み。

今後の見通しとしては、板類・押出類においては、自動車を中心とする輸送用機械、一般機械等の需要の伸びから、全体として微増になると予想される。また、アルミ箔については、全体として増加に転じると予想される。

(2) 生産・設備稼働

18年度における生産量について、板類は前年度比1.5%、押出類は同0.2%、板類・押出類の合計では、同0.9%と2年ぶりのプラスとなる見込み。また、アルミ箔においては、同▲0.6%となる見込み。

(3) 企業収益

アルミ圧延主要企業の経営動向（大手6社連結ベース）（単位：億円）

	平成17年度	平成18年度
売 上 高	17,438	20,222
営 業 利 益	981	1,146

平成18年度決算では、自動車部材向けや半導体関連需要が好調に推移したこと等から、売上高、営業利益とも前年度比増となる見込み。

2. 設備投資動向（グラフ1参照）

アルミ圧延業の設備投資動向（単位：百万円、％）

	17-18共通回答企業		18-19共通回答企業		18/17	19/18
	17年度	18年度	18年度	19年度		
アルミ圧延	14,655	18,926	18,926	23,042	129.1	121.7

(1) これまでの設備投資の推移

18年度は、景気回復に伴い、生産能力増強を目的とした投資を中心に、更新、維持・補修等についても設備投資が行われる見込み。

(2) 平成19年度の設備投資計画

19年度は、引き続き生産能力増強や更新、維持・補修のための投資が行われ、また、合理化等にも重点を置いた投資を行う計画があり、全体としては投資額の増加が見込まれる。

3. 長期資金調達・運用動向

19年度は、18年度に引き続き売上、営業利益が好調なことから、民間の金融機関への返済が進む見込みである。

（グラフ1：設備投資の前年度比の推移）

